

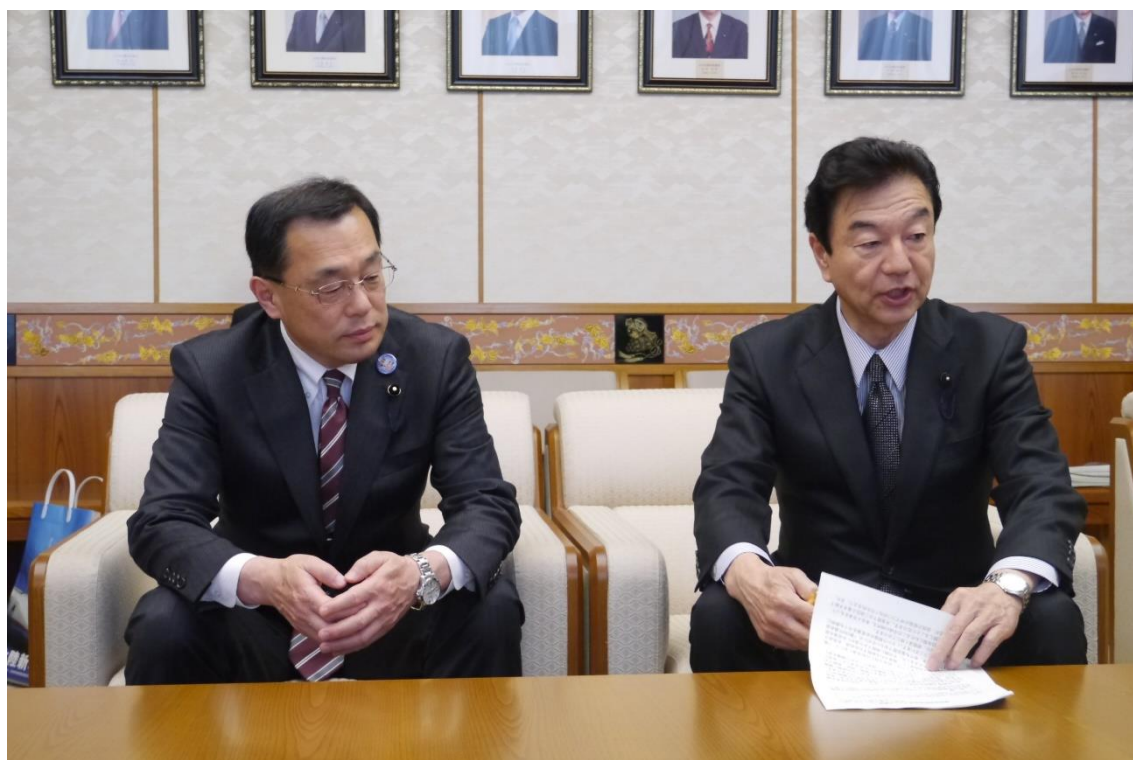
議長記者会見（第32回）会見録

日時：平成31年3月15日（金）

午後2時30分から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室



会見を行う作野議長（右）と焼田副議長（左）

私ども正副議長として4回目、また、平成最後の定例会を無事終えることが出来ました。これも関係の皆さま方のご理解とご協力のおかげだと思っております。

初めに、天皇陛下におかれましては、本年、ご在位30年をお迎えになりました。本県議会としましても祝意を表するため、先月20日、今定例会初日の冒頭に「天皇陛下ご即位30年」の賀詞を全会一致で決議し、奉呈いたしたところであります。

天皇・皇后両陛下におかれましては、これまでの30年間に幾度となくご来県をいただき、能登から加賀まで、県民一同が両陛下の温かいまなざしとお言葉に元気と感動をいただきました。長年にわたる両陛下のご活動に対しまして、改めて、心から感謝を申し上げる次第であります。

私個人といたしましては、昨年9月に小松空港において、「福井しあわせ元気国体」にご臨席される両陛下のお出迎え、お見送りの機会をいただきました。その際に両陛下から温かいお言葉を掛けていただき、中でも皇后陛下からいただいた「第100代議長就任おめでとうございます。」という祝福のお言葉を、今でも鮮明に記憶しており感慨深く感じております。

およそ30年間にわたるこの平成の時代も、来る4月末をもって、その幕を閉じることになります。天皇陛下のご退位と皇太子殿下のご即位が、国民の祝福の中で、つつがなく行われるよう、また、天皇・皇后両陛下の今後益々のご健勝、ご多幸と皇室の末永いご繁栄を心からお祈り申し上げます。

さて、今定例会では、新幹線金沢開業以来好調に拡大する本県景気の勢いを、東京オリンピック・パラリンピックや新幹線県内全線開業などのチャンスを生かしながら加速させていく、対前年度比4.8%増となる5,808億円余の平成31年度実質当初予算案が提案されました。我々議会としても、本県の更なる発展につながるよう執行部としっかりと議論を積み重ね、今後の本県の更なる飛躍につながる積極予算であると捉え、先ほどの本会議で可決をいたしましたところであります。

1 今定例会を振り返って

それでは、定例会を終えての所感を述べさせていただきます。

今定例会では、今ほどお話しいたしました積極予算の柱立てを中心に様々な質疑がなされました。執行部においては、今定例会での議員からの質疑の趣旨を踏まえた上で、施策の実行に取り組んでいただきたいと思います。

今回の実質当初予算の柱でもあります新幹線県内全線開業に向けての取り組みについては、並行在来線への観光列車導入、加賀百万石周遊ルート観光案内サインの充実強化や、観光客のSNSによる発信を活用したPRなど、多くの議員から様々な提案や質疑がなされるなど、活発な論戦が繰り広げられました。今後、開業効果の県下全域への波及、そして維持・拡大に向け、議会として、しっかりと執行部と議論をしてまいりたいと思います。

次に、日本海側トップクラスのクルーズ船の寄港を誇る金沢港の機能強化については、本県の好調な経済状況を更に発展・加速させる上で重要な要素であります。こうしたことから、議会でも港の賑わい創出や、来年度末の完成を目指すクルーズターミナルの運営体制など、多くの質疑がなされました。議会としても、本県の経済状況の発展・加速を目指し、今後も執行部と、しっかりと議論をしてまいりたいと考えております。

こうした好調な本県の経済状況を維持・発展させていくためには、人手不足に対応した人材確保の取り組みも非常に重要な課題であります。今議会でも、企業等におけるAIやIoT導入支援、ILACの成果、学生の県内就職を促進する取り組み「ふるさと石川就職学生カード(ISica)」の交付事業などに関する質疑が多くの議員からなされました。議会としても、人材確保は、景気対策のみならず、人口減少対策にも通ずる重要な課題であることから、

執行部とともにしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

今定例会では、その他にも県民へのスポーツの普及・振興としての「スポーツマイレージ事業」、千葉県での痛ましい児童虐待事件を受け児童虐待防止対策として、児童相談所や学校等と弁護士等の連携、また、安全・安心な県民生活を守る防災対策として、土砂災害に対する対応など、県政が直面する多くの課題に関する質疑がなされました。今後も議会として、こうした多方面の多くの課題に対して、執行部と丁寧に議論を行ってまいりたいと思います。

次に、今定例会中に可決された意見書等についてであります。冒頭にお話しいたしました「天皇陛下ご即位 30 年」の賀詞の決議のほか、「意見書等調整会議」におきまして、調整された結果、各党派から提案のあった 6 件の意見書等のうち、「加齢性難聴者に対する補聴器購入を支援する制度の創設を求める意見書」など 4 件が可決されました。可決された意見書 3 件については、議会として、いずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

2 今任期中を振り返って

今定例会は我々議員にとって、今任期中最後の定例会でありました。議会では、この 4 年間、議会改革や議員提案による条例の制定など、様々な取り組みを進めてまいりました。

議会改革としては、県民の皆様へ、よりわかりやすい議会の議論を見ていただくため、平成 30 年 5 月定例会から傍聴者に質疑要旨を配布するとともに、ホームページにも掲載いたしました。また、政務活動費の透明化をさらに高めるため、これまでの収支報告書に加え、平成 29 年 7 月からは、領収書等の写しも議会図書室で閲覧できるようにいたしました。

議員提案の条例については、県民の皆様へ様々な意見を取り入れながら議論を重ね、この 4 年間で「石川県がん対策推進条例」(H29. 3)、「石川県スポーツ推進条例」(H29. 6)、「石川県県産材利用促進条例」(H30. 6)の 3 本の条例を制定いたしました。

また、開かれた県議会となるよう広報活動の充実にも努めてまいりました。平成 26 年度から開催し好評を得ております「ふれあい親子県議会教室」に、より多くの小学生が参加できるよう、平成 28 年度より開催日数を 2 日間に拡大、また、これまでインターネットでライブ中継していた議会中継を、平成 28 年 9 月よりスマートフォンでも視聴できるようにしました。

そのほか、今任期中には、県議会が長年実現を訴えてきたドクターヘリが、昨年 9 月から運航を開始、そして「小松空港国際化推進石川県議会議員連盟」が長年粘り強く働きかけていた小松・香港定期便が、11 年ぶりの新規国際路線として、来る 4 月 3 日に就航することとなるなど、すばらしい成果も得ることができました。

それから、今任期中も議員辞職がありましたが、補欠選挙で 3 名の議員が新たな仲間に加わり、県議会に新しい息吹も入ってまいりました。

最後に、来る 29 日には石川県議会議員選挙告示日を迎えます。今回の選挙は、選挙区の

見直し後、初めての選挙となります。

我々43名の議員のうち、現在、金原議員お一人が不出馬を表明されているということがあります。金原議員におかれましては、金沢市議会議員時代を含め、半世紀以上にわたり地方議員として石川県の発展にご尽力をいただきましたこと、県議会を代表して感謝を申し上げたいと思います。今後は、議員OBとして、県議会にご助言をいただければと思っております。

残りの42名の議員については、チャレンジしていくということですので、皆さんの当選を期待しているところであります。

私も議長として油断せずに県議選に挑みたいと思います。

私からは、以上であります。

3 質疑応答

記者

平成最後の定例会でしたけれど、正副議長として1年間務められた感想を、改めてお二人にお聞きします。

作野議長

いろいろなことがありましたが、今時点で思うことは、4回の定例会が無事に終了したということに一番安堵しています。

焼田副議長

私も議長と同じで、議会をスムーズに進行することができたのが良かったというふうに思っております。

また今回は、ちょうど改選を控えた議会であったこともありまして、質問の内容も意外と皆さん、地元の課題を取りあげる方が多かったと思いました。それだけこれからの選挙戦でそういった課題を訴えながら戦い、また新たな気持ちで、私も議長も含めて、無事議場へ帰って来られるようにと、そういうふうに思っています。

記者

先ほどの知事の会派回りの際、議長、副議長には、どんなお話しをされていきましたか。

作野議長

当然選挙なので、「頑張って」とね。

記者

選挙なので、お二人とも同じで。

焼田副議長

そうですね。

私らの選挙区では、選挙が予定されていますからね。

記者

教育長の人事案についてですが、今まで1期というような習わしがあったと聞いているのですが、今回の人事案はすんなりと同意されたという形だったのでしょうか。

作野議長

1期という決まりは、誰も決めていないのであって。

記者

慣習ですかね。

作野議長

慣習で1期なの。誰も2期した人はいないの。

記者

近年はいないみたいで、

作野議長

そうですね。提案については、人物本位で特に問題はないということで同意させていただいたということ。

焼田副議長

周りもそうですし、現場の学校もそういうふうに思っているのでしょうか。教育長のやり方と言いますか、認められていると思いますし、適任だと言うことだと思いますよ。

記者

分かりました。

改選後ですが、次の議長、副議長に望むことはありますか。

作野議長

まず、我々は今の任期をきちんと務める。定例会は終わりましたが、まだいろんなことがあるかもしれませんし、今任期中の議長職をしっかりと務めさせていただくと、それで任期が終わり、次の人に何か申し送りがあれば伝えていきたいと思います。

今の段階では、まだ早いですね。

焼田副議長

私も同じく、まだ選挙告示前にも副議長として出席する公務がありますので、まずそれらをしっかりとこなしていきたいと思っております。その先については、どういう結果になるのか、何もまだ分かりませんが、とにかく目の前の仕事をしっかりとこなしていくということを心がけていきたいというふうに思っております。